

事業ごみの分別・処理について

- 事業所から排出するごみは、「紙類」、「缶・びん・ペットボトル」、「可燃ごみ」の3種類に分別することを徹底する。
- 事業ごみ(事業系一般廃棄物)の処理は、一般廃棄物収集運搬業の許可を受けた処理業者に委託する。
- 「紙類」、「缶・びん・ペットボトル」、「可燃ごみ」用の3種類の袋を地区担当の許可業者から調達し、事業ごみとして回収、リサイクル・処理してもらう。
なお、「紙類」の分別については、許可業者により取扱いが異なるため、地区担当の許可業者に相談すること。
- 「紙類」は古紙回収業者に引渡すことも可能であり、その場合は新聞、段ボール、雑誌、雑紙、コピー用紙等に分別する。
- 産業廃棄物の場合は、産業廃棄物許可業者に委託する。
※ 紙類 = 紙製容器(紙パック)、コピー用紙、雑誌、雑紙、新聞、段ボール、機密書類、シュレッダー処理紙
- ごみの減量・リサイクルをさらに進めるため、施設から排出されるごみの性状や排出量を勘案して、可能な場合は「プラスチック製容器包装」、「生ごみ」、「割り箸」、「廃食用油」、「剪定枝」などについても分別・リサイクルを行う。